

表彰区分	マロニエ建築優良賞	
作品名	日光市本庁舎	
所在地	日光市今市本町1番地	
用途	庁舎	
建物概要	構造：鉄骨造	敷地面積：14,879.26 m ²
	階数：地上4階	延べ面積：10,526.52 m ²
建築主	栃木県日光市今市本町1番地 日光市	
設計者	東京都墨田区横網2-10-12 佐藤総合計画・翔建築設計事務所特定設計業務共同企業体	
施工者	栃木県日光市大桑138番地 東武・磯部・八興特定建設共同企業体	

講評

日光市のシンボル街道「日光街道」と「日光例幣使街道」に挟まれた敷地に建つ新庁舎である。両街道をつなぐ「新日光交流街道」に沿うように建てられ、前面には大きな庇が設けられ、大きなカーブを描く大屋根が特徴的である。内部に入ると、街道プラザと呼ばれる市民に開放されたゾーンが道路に沿って設けられ、そこから奥には市民サービスのための待合ホールがつながり、手前側は大庇のある通りに面する窓際に沿って「見世」と称する憩い空間が5ヶ所つくられて市民に供されるなど、市民にとって親しみやすい空間構成となっている。各所に地元産材を多用したり、執務空間や市民の待合ロビーなど天井を張らずに直天井や膜天井として震災時に落下しない対策をしたり、1階から屋上まで突き抜けた風の道になる吹き抜けをつくって中間期に空調なしの換気が行われるようにしたりと、確かな工夫を積み重ねている。全体として機能的に整理され、緻密にデザインされており、いちばんの特徴としている大きな庇が作り出す空間が、設計の意図どおり、市民の交流のための場としてどのように利用されていくか、今後も注目していきたい。

